

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【公表番号】特表2011-523642(P2011-523642A)

【公表日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2011-033

【出願番号】特願2011-509995(P2011-509995)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 9/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39 Z N A

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 9/10

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/18

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月26日(2013.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アルファウイルスレプリカーゼを含む、免疫系を調整するためのアジュバントであって、レプリカーゼがRNA依存性RNAポリメラーゼを含む、アジュバント。

【請求項2】

アルファウイルスがセムリキ森林ウイルスである、請求項1記載のアジュバント。

【請求項3】

レプリカーゼのアミノ酸配列がSEQ ID NO:1のアミノ酸配列と少なくとも90%の同一性を有する、請求項2記載のアジュバント。

【請求項4】

レプリカーゼがnsP2領域に変異があり、SEQ ID NO:1の位置1185-1187に変異RRR>RDRがもたらされる、請求項3記載のアジュバント。

【請求項5】

レプリカーゼがSEQ ID NO:4によってコードされるが、SEQ ID NO:4の位置4129-4131に

変異が導入されて、発現時にSEQ ID NO:1の位置1185-1187に変異RRR>RDRがもたらされる、請求項4記載のアジュバント。

【請求項6】

レプリカーゼがnsP2領域に変異があり、SEQ ID NO:1の位置1185-1187に変異RRR>AAAがもたらされる、請求項3記載のアジュバント。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項記載のアルファウイルスレプリカーゼをコードする発現ベクターを含む、免疫系を調整するためのアジュバント。

【請求項8】

発現ベクターがpRSV-RDRである、請求項7記載のアジュバント。

【請求項9】

ベクターがDNAベクターである、請求項7または8記載のアジュバント。

【請求項10】

アルファウイルスレプリカーゼまたはアルファウイルスレプリカーゼをコードする発現ベクターが、薬学的に許容される賦形剤および/または構成物と共に処方される、請求項1～9のいずれか一項記載のアジュバント。

【請求項11】

アルファウイルスレプリカーゼまたはアルファウイルスレプリカーゼをコードする発現ベクターがワクチン組成物中に存在する、請求項1-10のいずれか一項記載のアジュバント。

【請求項12】

請求項1～10のいずれか一項記載のアジュバントを含む、感染症を予防および/または治療するためのワクチン組成物。

【請求項13】

細菌性疾患を予防および/または治療するために用いられる、請求項12記載のワクチン組成物。

【請求項14】

請求項1～10のいずれか一項記載のアジュバントを含む、癌を予防および/または治療するためのワクチン組成物。

【請求項15】

レプリカーゼがウイルス性疾患を予防および/または治療するために用いられる、請求項12記載のワクチン組成物。

【請求項16】

ウイルス性疾患がHIVである、請求項15記載のワクチン組成物。

【請求項17】

タンパク質をベースとするワクチンを含む、請求項12～16のいずれか一項記載のワクチン組成物。

【請求項18】

1つまたは複数の抗原をコードする発現ベクターを含む、請求項12～16のいずれか一項記載のワクチン組成物。

【請求項19】

前記レプリカーゼと前記1つまたは複数の抗原とが同じ発現ベクターによってコードされる、請求項18記載のワクチン組成物。

【請求項20】

前記1つまたは複数の抗原をコードする発現ベクターがDNAベクターである、請求項18または19記載のワクチン組成物。

【請求項21】

前記ベクターが、以下を含む、哺乳動物細胞において機能する複製起点を欠く発現ベクターである、請求項20記載のワクチン組成物：

(a)異種プロモーターに機能的に連結された、核アンカータンパク質をコードするDNA配

列であって、核アンカータンパク質が、

(i) 特定のDNA配列に結合するDNA結合ドメイン、および

(ii) 核構成要素に結合する機能ドメイン

を含む、DNA配列;ならびに

(b) 核アンカータンパク質のための多量体化された(multimerized)DNA結合配列。

【請求項 2 2】

部分(i)および/または部分(ii)が、ウシバビローマウイルス1型のE2タンパク質に由来する、請求項21記載のワクチン組成物。

【請求項 2 3】

発現ベクターの1つまたは複数の抗原がHIVの1つまたは複数の構造タンパク質および/または非構造タンパク質を含む、請求項22記載のワクチン組成物。

【請求項 2 4】

1つまたは複数の抗原をコードする発現ベクターがGTU-Multi-HIVである、請求項23記載のワクチン組成物。

【請求項 2 5】

SEQ ID NO:3のアミノ酸配列と少なくとも90%の同一性を有する、タンパク質。

【請求項 2 6】

医薬としての使用のための、請求項25記載のタンパク質。

【請求項 2 7】

SEQ ID NO:4に実質的に開示される配列を含む発現カセットを含む発現ベクターであって、SEQ ID NO:4の位置4126-4133に変異が導入されて、発現時にSEQ ID NO:1の位置1185-1187に変異RRR>AAAがもたらされる(SEQ ID NO:3)、発現ベクター。

【請求項 2 8】

アルファウイルスレプリカーゼをコードする発現カセットを含む発現ベクターであって、レプリカーゼが実質的にSEQ ID NO:1に一致するが、nsP2領域に変異があり、SEQ ID NO:1の位置1185-1187に変異RRR>RDRがもたらされる、発現ベクター。

【請求項 2 9】

発現カセットがSEQ ID NO:4に実質的に開示される配列を含み、SEQ ID NO:4の位置4129-4131に変異が導入されて、発現時にSEQ ID NO:1の位置1185-1187に変異RRR>RDRがもたらされる(SEQ ID NO:2)、請求項28記載の発現ベクター。

【請求項 3 0】

pRSV-RDRである、請求項29記載の発現ベクター。

【請求項 3 1】

医薬としての使用のための、請求項27~30のいずれか一項記載の発現ベクター。

【請求項 3 2】

レプリカーゼをコードする発現ベクターが薬学的に許容される賦形剤および/または構成物と共に処方される、請求項27~30のいずれか一項に記載される、アルファウイルスレプリカーゼをコードする発現ベクター。

【請求項 3 3】

免疫システムを調節するためのアジュバントとして使用するための、請求項27~32のいずれか一項記載の発現ベクター。

【請求項 3 4】

CGGCGGAGからGCCGCCGCへの変異がSEQ ID NO:4の位置4126-4133に導入されている、SEQ ID NO:4と実質的に一致する核酸配列。

【請求項 3 5】

CGGからGACへの変異がSEQ ID NO:4の位置4129-4131に導入されている、SEQ ID NO:4と実質的に一致する核酸配列。